

終わりに

○これまで繰り返し「性暴力」「虐待」などについて質問してきました。

「性被害の一番の特徴は、被害の届け出がなされにくい」と。「性暴力救済センター・ふくい・ひなぎく」のセンター長によると、「被害者は少なくとも六、七割は警察に届け出ない感がある」とのこと。理由は、大ごとにしたくないとか、知れたらまずい、(特に公務員が被害者だとその傾向が強い)いろんな意味での村社会の中で声を上げずに苦しんでいる女性の痛々しい姿が浮かぶ。」

といった現状を述べ、「相談しやすい、訴えやすい環境づくり」や「児童相談所と警察との情報共有や連携」などを訴えてきました。

ところが先ごろ「女性はいくらでも嘘をつける」というフレーズが世間を騒がせました。
これは逆行・・・加害者側の言い訳に利用されると調査が難航します。早く被害を忘れない、忘れさせたい被害者側からすると、嫌な出来事を繰り返し述べなければなりません。これが問題です。

そこで早速に警察委員会「被害者への配慮」などを確認。

「女性警察官での対応」や「児童相談所との連携」は、かなり進んできているとのことですが、

「声を上げるといって第一歩ハードルを低くする」「被害者のトラウマ(心の傷)を深めない調査」

については、今後も継続的に訴えてまいります。

細川かをり県政報告

街路樹が紅く染まり、朝晩冷え込むようになってきました。今回も引き続き、9月議会(後半)の「報告です。

細 暑さに強く、倒伏しにくい「いちほまれ」は、いつになったら一般農家に作れるようになるのか?

県 来年から担い手農家以外にも生産者を拡大すべく、JAと協議をしている。品質確保のため生産者には、生産技術の研さんやマニュアル順守などの要件を満たしたうえで、品質基準をクリアしたものを「いちほまれ」として販売する。

細 農作物の蝗害(こうがい)防止を念頭に、昆虫・害虫の発生についての現状は?

県 農業試験場の中に病害虫防除室を組織して職員が6名で調査にあたっている。

今年のイナゴ類は、7月下旬に145haの水田で発生を確認。その後も平年より発生量が多いと予測されたので、「農作物病害虫発生予察予報」を発表し、広域一斉防除を呼び掛けた。

また、斑点米カメムシや穂いもちの多発生も予測されたので、注意報を発出した。

細 梅雨が長引いた年は蝗害が多い、歴史的には飢饉を招いた過去もある。しつかり、調査や適切な防除呼びかけを願う。

○越前海岸の景色が大好きです。

晴れた日の青い海・白波、夕陽が西に沈むのを眺めていると、時の経つのも忘れられるほどです。

でも、海岸線を車で走っていて、とても気になるのが「元お土産屋さんなどだった廃屋の数々」です。それも、とても見晴らしがいいであろう場所にデンと構えているのです。く目立ちます。

ネット上では「廃墟海岸」などと言われ福井の観光に大きなマイナス・・・これも、

「空き家対策で何とかならないか」などと何度か質問しています。でも

「破産管財人の対象物となっていていまして・・・」

と鈍い回答。何かいい手はないものかと、壊れた建物を見るたびに思案しています。

「換気しやすい時期に」と思って企画させていただきました。でも、もし県の「感染注意報」が発令されていたら、急遽中止させていただきます。ご理解のほど、どうぞよろしくお願いたします。

県政報告会



11月13日(金)

時間 午後7時半～

場所 越前市
社会福祉センター
越前市杉尾町 1-27-1

★ ラジオ「丹南FM79.1」
「県議会 夢 通信」
11月21日(土) 午後4時～
(再) 22日(日) 午前10時～

細川かをり県政報告 R2.11
発行：福井県議会議員 細川かをり
事務所：越前市村国1丁目2-11
TEL・FAX 42-5888

○古い建物と言っても、「伝統的民家屋の古民家」は大好きです。

自然の曲がりをもっともしい骨格の柱や梁、消臭・調湿。抗ウイルス作用もある漆喰の白壁、木や紙でできていて、壊しても自然に還る。素晴らしいです!

そもそも「古」という文字を付けるのものがかと思つていまして、「熟成した家」という意味の良い呼び方はないものかと思うほどです。

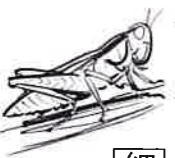
イギリスでは築何百年という古民家を、内装改築しながら大事に使っています。むしろそちらの方が値打ちがあつて高いとか。(ちなみに「ふくい」の伝統的民家認定」では、台所等の内装改築OKです)

「ヴァンテージ」・・・そう、「完成度が高く古くて価値が高い」を意味する「ヴァンテージ」という形容詞がいいなあ・・・なんて思うこの頃です。大事にしましょ♡

いちほまれ

農業

蝗害(こうがい)防止



コロナ関連

消毒用アルコール

災害ボランティア活動

第57号



今秋は9月の風でコシヒカリが倒伏し、稲刈りにとても苦労されたところが多く見受けられました。(うちの田圃もその一つ(-_-))

アフリカやインドなどでは、サバクトビバッタの襲来があり、深刻な食糧不足をもたらしました。丹南地区では、稲の葉を食べるイナゴ発生のお声あり。さらに、斑点米をもたらすホソハリカメムシも増えています。

細

手の消毒は欠かせない状況だが、手指の消毒用アルコールではなく、安い工業用アルコールを購入した自治体があると聞く。アルコールと言ってもメタノールだとしたら毒性がある。手指の消毒に関し、広く、正しい知識の啓発をすべきではないか?

県

工業用アルコールは、厚生労働省が「暫定的に使ってもいい」という通知を出している。しかし、指摘のように、「メタノールが含まれていると毒性があるのでいけない」といった正しい知識を知っていただく必要がある。県ホームページや広報媒体を通じて、広く呼びかけていきたい。

細

熊本や岐阜で水害が発生し、災害ボランティア活動が行われたが、「コロナ禍で、県外からのボランティアお断り」となり、人手不足で復旧スピードが遅れた。

その後、岐阜県では「感染予防を徹底し、コロナ禍でも県外からのボランティアも受け入れる」方針を決めた。福井も「ボランティアの受け入れ・派遣」の方針を事前に決めておくべきだ。

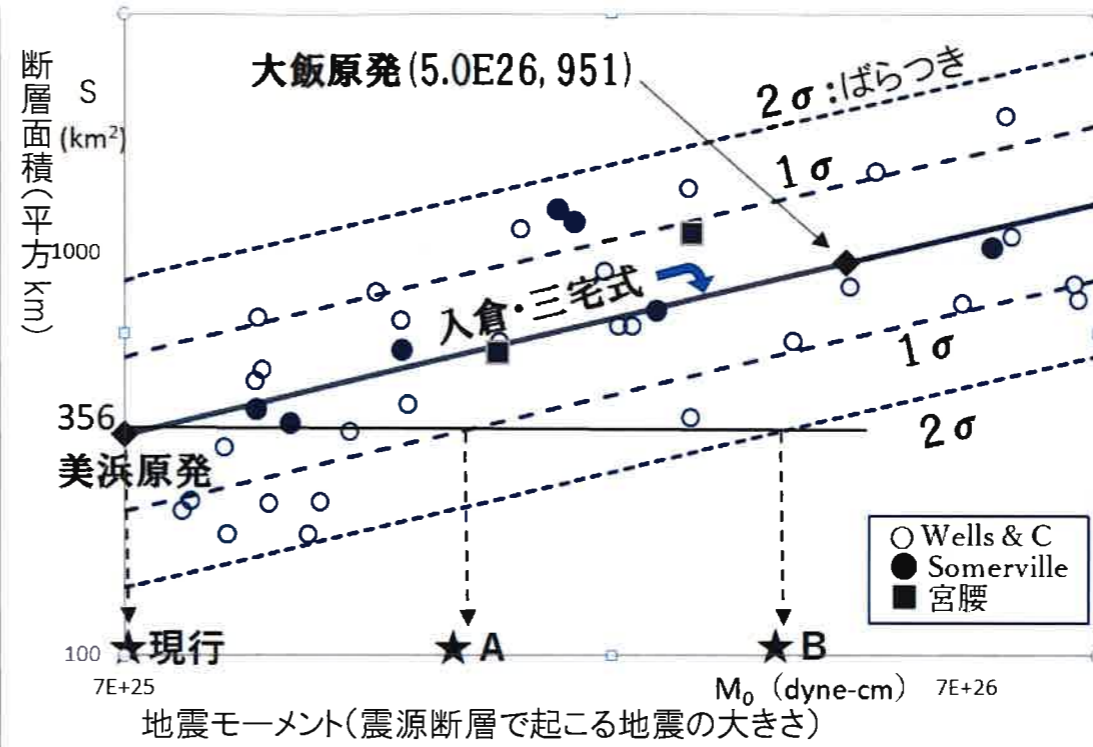
県

事前に対応方針を決めておくことは、非常に重要。先進事例を参考にしながら、どういったことが可能で、どういった課題があるのかを整理し、福井県災害ボランティアセンター連絡会で検討し、早急に対処する。

原発の基準地震動

二十一世紀の中ごろには次の東海・東南海地震の発生が予想されています。
過去の歴史を見れば、その50年前くらいから地震後10年くらいの間は、内陸活断層の地震(直下型地震)が多発する傾向にあり、今はすでにそのさなかにある段階のようです。
それを頭に入れながら、原子力政策・原発の基準地震動に関して質問しました。

入倉・三宅式地震動評価と標準偏差:美浜原発と大飯原発



※ この地震モーメントを元に、原発の基準地震動が計算されています。当事者の関電が行う計算のプロセスは、規制庁でも分からないと聞いています。

※ 美浜原発は、活断層の巣の中にあるので基準地震動は24個もあります。その中で、最大の加速度をもたらすのは原発のほぼ真下にあるC断層。その断層面356km²が揺れる場合の平均値から計算されたのが★993ガル。でも★A★Bといった大きな値をたたき出す可能性=「ばらつき」があります。

単位=ガル

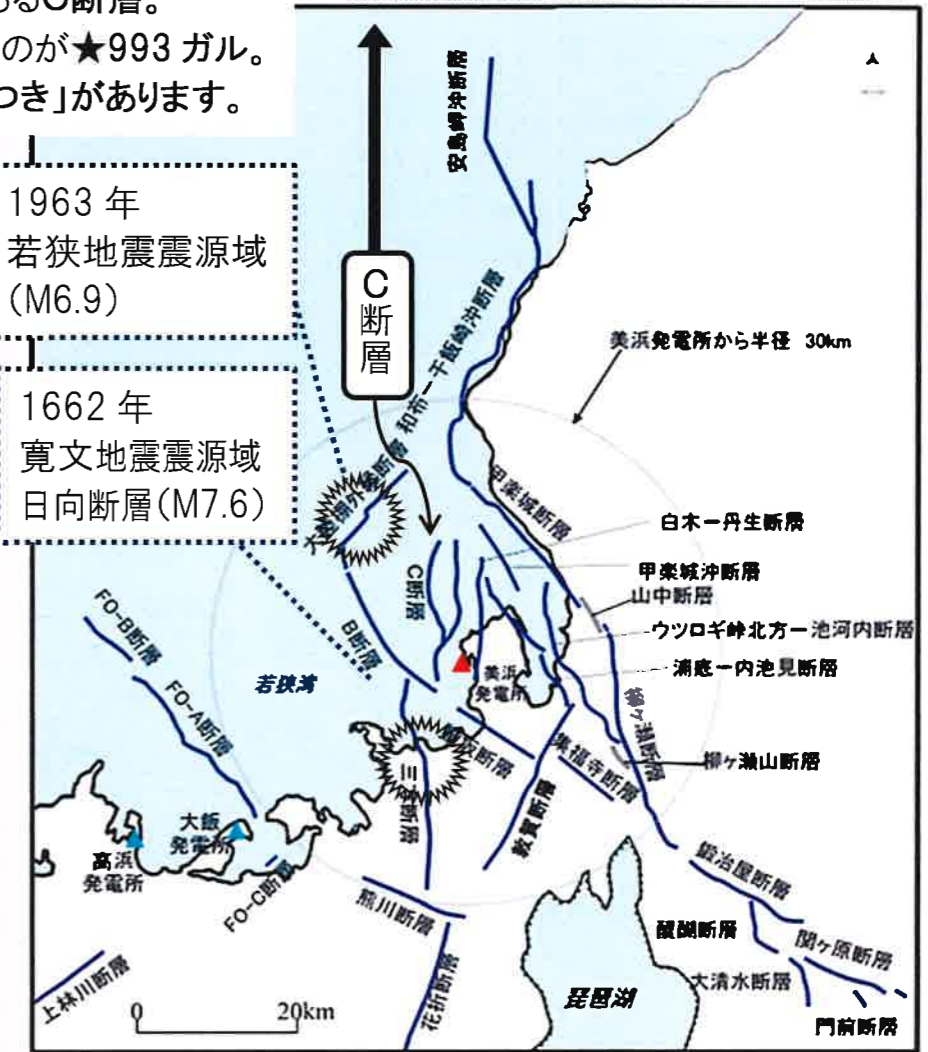
基準地震動	現行	ばらつき1σ考慮 (1標準偏差)	ばらつき2σ考慮 (2標準偏差)
美浜3号	★ 993	★A 1,330	★B 1,780
大飯3・4号	856	1,150	1,540

※ 過去、原発で基準地震動を越えた地震の揺れが起きたのは5回。

特に柏崎刈羽原発では、当時の基準地震動が「500ガル以下」だった1号機を、2007年の新潟県中越沖地震で1699ガルという基準地震動をはるかに上回る地震動が起きています。

ちなみに、原発ではありませんが、2008年の岩手・宮城内陸地震では、それまで活断層と認識されてなかったところで4022ガルという極めて大きな地震動が観測され、関係者を驚愕させました。

美浜原発とC断層は離れているように見えますが、斜めに切れ込んでいるので、地下では原子炉真下に位置します。



(注) 敷地から半径約30kmの範囲の主な断層について図示している。

原子力規制委員会は、学会で議論・整理された知見があれば、取り入れるという事です。

知 「地震の調査研究推進本部で『入倉・三宅式』というのが推奨されているので、その方法を採用しつつ、そのうえで、できるだけその活断層のサイズを大きめにすることで、過小評価にならない。」
という立場で審査を行っている聞いています。

細 県土・県民を守るため、国と関西電力に対し、「地震リスクを過小に見積もって基準地震動を定めてはならない」と強く訴えらるとともに、**現行基準地震動のままでは再稼働を認めない**と求めている。

細 知事は前回の一般質問で、「最新の知見に基づいて、一層の充実強化に努めるよう国に求めていきたい。」
と言われたが、『国』だけ、『事業者だけ』でなく、『地方自治体として、県民を守るには入倉・三宅式でいいのか』を考慮し、**国に質していただきたいがどうか。**



知 指摘も踏まえ、規制委員会に対して、『最新の知見に基づいた原子力規制の充実強化』をしていただくよう、これからもお願いしてまいります。

「入倉・三宅式地震動評価」は「断層面積から地震の規模を推定する」ので、「過去の地震観測結果」があれば、その断層面の「傾斜・深さ・長さ・不均質の程度」などの情報が得られるので地震規模を再現できます。

しかし実際の地震データがなく「活断層の長さしかわからない」場合は、地下深部を推定するので「不確かさ」が大きく、防災上の観点からは、複数のケースを設定すべきです。(☞加えて、予測手法も最新レシピで行うべきです)

元原子力規制委員の島崎邦彦氏は、熊本地震を踏まえて「入倉・三宅式地震動評価」は「過小評価」との警告を発しています。

以上のようなことからまずは、基準地震動が適切かどうかの追究が必要です。そのうえで、

- ・主要配管だけでなく、圧力測定用の枝配管=重要度BCの配管も、流体での減肉(厚みの減少)など直しているのか?
 - ・地震で怖いのは炉心の下「炉底」からの水漏れ→そういう部分はないのか? 炉底配管などが地震で外れないか折れないか見ているのか?
 - ・炉心の水が抜けると蒸発・沸騰してしまう。水入れ系統は地震で壊れない配管設置になっているのか? どこかきちんと点検してる?
 - ・・・といった細かいところまでの確認が必要だと考えます。
- 今後も、一生懸命勉強して、安全確認について質してまいります。